

# さめがわ

[広報] 鮫川村広報誌



No.604  
平成16年8月1日発行  
JULY 2004

8

【特集】命をつなぐ骨髓バンク

【クローズアップ】先人の教え  
—渡瀬村救荒修祭記碑

## ■行政情報

住民健診、福島県知事選挙 ほか

## ■ほっとニュース

藤田卓三さん叙勲祝賀会  
健康づくり夏季球技大会 ほか

[表紙写真]  
どりりんピック・鮫小2年生  
(7月25日)

## [特集] 命をつなぐ骨髄バンク

#### 骨髓バンクのドナー登録から骨髓提供まで

- ①登録会場（今年は村保健センター）においてください。

※登録に要する時間は約1時間です。赤十字血液センター  
や保健所でも登録できます。

②約15分の説明ビデオを見た後に、腕の静脈から約10cc採  
血し、登録は終了です。

※後日ドナー登録確認書が送られます。

③登録データセンターであなたの白血球の型をコンピュー  
タに登録し、定期的に患者さんと適合するか検索します。

④適合した場合、適合通知が届きます。

⑤担当医、コーディネーター（安心、安全に移植を行うた  
めに調整を図る専門の方）の説明の後、提供する意思を  
確認し、血液検査と健康診断を行います。

⑥検査の結果、問題がなければ最終的な本人の提供意思を  
確認します。（家族の同意が必要です。）

⑦3～7日程入院し、移植のための検査などを受けます。

⑧全身麻酔のもと、腸骨から骨髓液を採取します。  
※採取時間は約1～3時間です。

⑨採取後、検査の結果問題がなければ通常2～3日で退院  
できます。

⑩採取後に腰に鈍痛が残る場合もありますが、通常1～7  
日間でなくなります。（個人差があります。）

⑪提供2～3週間後に採取病院で健康診断が行われます。

骨髄バンクは世界四十か国の地域にあります。日本での骨髄バンク事業は、国主導のもと骨髄移植推進財団が主体となり、日本赤十字社および都道府県の協力により運営されている公的事業です。

骨髄バンクには現在、全国で約十九万人の方が登録していますが、移植を希望している九割の患者さんに骨髄を提供するためには、三十万人の登録が必要とされています。病気に苦しむ

ある組織で、血液をつくります。その中には、血液成分のもとにならる骨髄幹細胞が含まれていて、骨髄液で満たされています。骨髄液がつくる主な血液成分には、「赤血球」、体内に酸素を運ぶ「白血球」、病原体から身を守る「血小板」などが出血を止める「血小板」などが

骨髓移植の基礎知識

供者（ドナー）の健康な骨髄幹細胞と入れ替えることで、正常な造血機能を回復させることをいいます。

あります。

ため、出血や感染、貧血など  
が問題となる病気。

◆先天性免疫低下症候群：身体  
を守る免疫機能が生まれつき  
低下しているため、感染症に  
かかりやすくなる病気。

れなくなる

けが増え、正常な血液がつく

**骨髓バンクドナー登録会のお知らせ**

ク事業。もし

## 人の命の架け橋となる骨髓バン



## Interview

先月村内で初めての  
骨髓提供を行った  
**圓井 利幸**さん（24歳）  
赤坂東野字広畠在住

—骨髓バンクに登録したきっかけは？

高校生の頃から、骨髓バンクの存在を知り、バンクの活動を手伝うようになっていたので、登録したのは自然でした。私は、20歳になつてから保健所の休日登録会で登録しました。

—提供までの心境はどうでしたか？

最終同意してから、一番気をつけたのは提供するまでの健康管理でした。患者さんは前処理といって自分自身の骨髄幹細胞を壊す処理をしているので、私がいかに健康な状態で骨髄液を提供できるか普段より意識していました。また、全身麻酔は初めてだったので、多少の不安もありました。

—提供した後の感想はどうですか？

想像していた以上にあっさりと終ったなと思いました。若さもあると思いますが、提供後の痛みもあまり感じられませんでした。私は絆りましたが、患者さんの鬱いはまだ続いているので、無事助かってもらいたいと思います。

提供を終えてみて、提供するまでの環境づくりがまだまだ必要だと感じました。また、骨髓バンクの活動にボランティアで参加していますが、活動には仲間意識が大切だと思います。

A black and white photograph capturing a scene in what looks like a medical or scientific exhibition booth. In the foreground, the back of several people's heads are visible as they look at a vintage computer monitor. The monitor displays a large, prominent red cross symbol. To the left of the monitor, there are shelves with various items. Behind the monitor, there are several informational posters or charts. In the background, two men in dark suits are standing near a counter or display area. The overall atmosphere suggests a professional or educational environment.

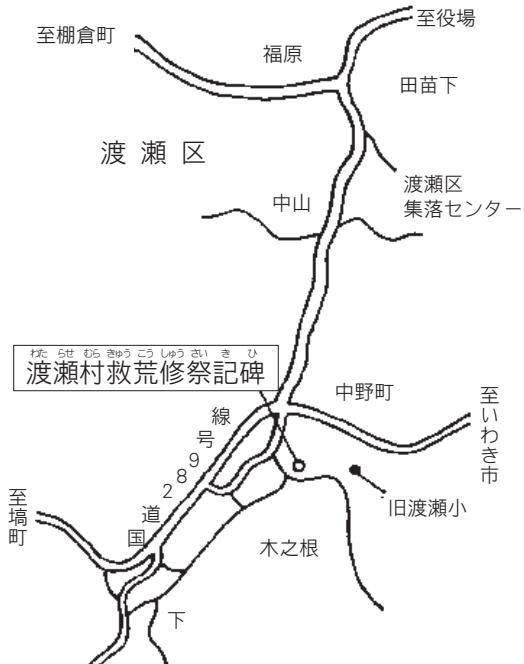
[特集]

# 命とつなぐ 骨髓バンク

## 骨髓バンクの必要性

骨髄提供者（ドナー）は、どんな人でも大丈夫とは限りません。大切なことは、患者さんとドナーの白血球の型（HLA型）が一致しなければならないということです。HLA型（ヒト白血球型抗原）は、各人固有の遺伝性の抗原で、数万通りの組み合わせがあります。この型が一致しないと骨髄移植をした際に拒絶反応が起こってしまいます。HLA型が一致する確率は、兄弟姉妹で四人に一人で、それ以外では数百人から数万人に一人となってしまうため、骨髄移植を受けられない患者さんが少なずありません。そこで、一人でも多くの患者さんに骨髄移植ができるよう、広く一般の方々に善意の骨髄提供を呼びかける目的で一九九二年に開始されたのが「骨髄バンク事業」です。

## ■渡瀬村救荒修祭記碑位置



この渡瀬村救荒修祭記碑は、寛政3年（1791年）渡瀬村に住む赤坂奉嘉によって建てられたもので、碑に刻まれている文字は水戸藩の立原萬（翠軒）によりつくられました。

この碑文には、

「天明3年（1783年）、渡瀬村（現在の渡瀬区・青生野区）は高冷地のため、長雨の被害を受けて稲は実らず餓死者の屍が野にあふれた。村外に流亡する者も多く、150余あった戸数の5分の1が減少し、田畠は甚だしく荒れた。

しかし、渡瀬村民は力を合わせ立ち上がり、荒廃した農地の復興に努力した甲斐があって、寛政元年（1789年）は大豊作となつたため、餓死者の骨を埋め、僧侶を頼んで供養を営んだ。天災は予期しない時にくるものであり、人々は平常時から努めて備えなければならない。」

と記されており、後世の人々を戒めています。

●説明  
村の案内人

芳賀 弘さん（江竜田）

## ■書き下し文『寺西代官領における農山村の庶民生活史料』(村史より 抜粋)

渡瀬村救荒修祭記碑

この碑文には、

この渡瀬村救荒修祭記碑は、寛政3年（1791年）渡瀬村に住む赤坂奉嘉によって建てられたもので、碑に刻まれている文字は水戸藩の立原萬（翠軒）によりつくられました。

この碑文には、

「天明3年（1783年）、渡瀬村（現在の渡瀬区・青生野区）は高冷地のため、長雨の被害を受けて稲は実らず餓死者の屍が野にあふれた。村外に流亡する者も多く、150余あった戸数の5分の1が減少し、田畠は甚だしく荒れた。

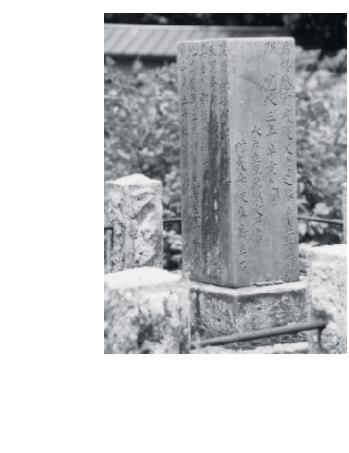
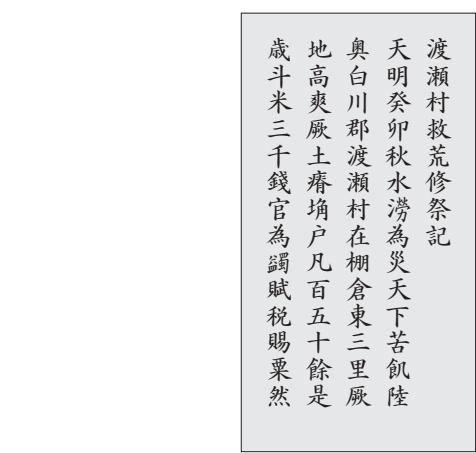
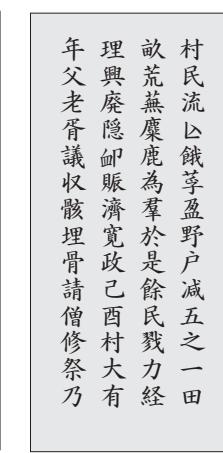
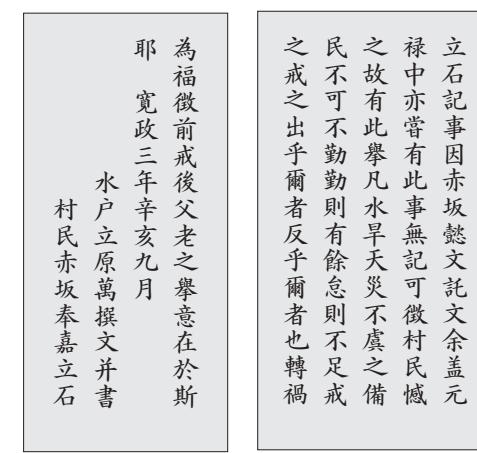
しかし、渡瀬村民は力を合わせ立ち上がり、荒廃した農地の復興に努力した甲斐があって、寛政元年（1789年）は大豊作となつたため、餓死者の骨を埋め、僧侶を頼んで供養を営んだ。天災は予期しない時にくるものであり、人々は平常時から努めて備えなければならない。」

と記されており、後世の人々を戒めています。

●説明  
村の案内人

芳賀 弘さん（江竜田）

## ■碑に刻まれている漢文



[クローズアップ]

# 先人の教え

昨年は低温・日照不足・長雨などの異常気象の影響で、農作物に大きな被害が出ました。村では、優良種子供給事業や村税の減免、被災農家経済安定対策事業などを実施しました。さかのぼることおよそ220年前…。私たちの祖先もまた天災に苦しめられていました。村内には、当時の状況がうかがえる村指定史跡「渡瀬村救荒修祭記碑」があります。今回は、先人の教えが刻まれた「渡瀬村救荒修祭記碑」にスポットを当ててみます。



# 投票日は9月5日(日)です

任期満了に伴う福島県知事選挙は、八月十九日(木)に告示、九月五日(日)に投票が行われます。私たちの「声」を県政に生かす大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

## 投票時間／午前7時～午後7時

③平成十六年五月五日以降に県内市町村に転出された人で、転出先市町村の選挙人名簿に登録されていない場合(県内転出一回のみ)

### 投票できる人

今回の選挙で投票ができる人は、次の要件を満たし、選挙人名簿に登録されている人です。

- 昭和五十九年九月六日までに生まれた人
- 村外から転入された人は、平成十六年五月十八日までに「転入届」が済んでいる人

### 投票は村内8箇所で

投票は村内八箇所の投票所で行います。投票時間は、午前7時から午後7時までとなります。投票所へは「入場券」を忘れずにお持ちください。紛失した場合は、投票所の係員に申し出てください。

### 期日前投票・不在者投票

選挙の投票当日、仕事や旅行、冠婚葬祭などで投票できない場合は、八月二十日から九月四日までの間、役場で投票できます。時間は午前八時三十分から午後八時までです。この際、入場券を忘れずにお持ちください。

郵便による不在者(在宅)

身体に重度の障害がある人は、「郵便投票証明書」の交付を申請し、交付要件に該当すれば郵便による不在者投票(在宅投票)ができます。交付申請は、常時受け付けています。次の要件に該当し、希望される方は申請してください。

①身体障害者手帳の交付を受け、両下肢・体幹・運動機能の障害の場合は一級、二級。心臓・腎臓・小腸の場合は「特別項症」から「第三項症」までの項症が記載されている人。

③要介護者で介護保険被保険者証の要介護状態区分が要介護五級な人。

④①②に該当するか判断がつかない場合は、県知事が書面により証明した人。

交付申請先 村選挙管理委員会

申請に必要なもの 身体障害者手帳または戦傷病者手帳、もしくは介護保険被保険者証

## 児童手当が改正されました

### 支給対象年齢を小学校3年生まで拡大

平成十六年四月一日から、児童手当制度が拡充されました。

のぼつて支給されます。

#### ■平成十六年度小学校入学児童(平成九年四月一日生まれ)の場合

平成十六年三月三十一日まで、当該児童に係る児童手当等を受給していました保護者の方は、手続きの必要はありません。(児童手当等は四月以降も引き続き支給されま

す)。上記に該当しない保護者の方で、受給資格がある場合は、認定請求が必要になります。

#### ■平成十六年度小学校二・三年生(平成九年四月一日生まれ)の場合

平成十六年三月三十一日まで、当該児童に係る児童手当等を受給していました保護者の方は、手続きの必要はありません。(児童手当等は四月以降も引き続き支給されま

す)。上記に該当しない保護者の方で、受給資格がある場合は、認定請求が必要になります。

#### ■平成十六年度小学校二・三年生(平成九年四月一日生まれ)の場合

現在、児童手当を受給している保護者の方は、「認定請求」、現

最初の年度末)までから、小学校第三学年終了前(九歳到達後最初の年度末)までに拡大されました。今回の改正により、新たに児童手当を受けようとする保護者の方については、認定請求等の手続き

が必要となります。

なお、改正に伴う新規請求等は、法執行日(六月十八日)から平成十六年九月三十日まで受け付けたもの限り、特例的に四月一日(または支給要件に該当した日)にさか

## 自立できる村づくりを目指して

### 第3次行政改革大綱(案)を諮詢

村では、極めて厳しい財政環境の中、自立できる村づくりを目指します。

指すために、第三次行政改革大綱(以下「行政改革大綱」という。)を策定します。

その改革大綱の調査審議機関である「行政改革推進委員会」を設置し、第一回目の会議を七月十三日に開催しました。会議では、役員選出が行われ、村長から任命された委員(下欄表)の互選により阿久津清次さんが会長に選任され、職務代理者に松崎清次さんが指名されました。

続いて、村長から阿久津会長に行政改革大綱(案)が手渡され、九月



村長から阿久津会長へ手渡される大綱案



第1回行政改革推進委員会会議(7月13日)

■問い合わせ 村総務課 49-3111

### 行政改革推進委員会委員

氏名	住所	備考
阿久津 清次	西山字折戸	会長
松崎 清次	西山字岩野草	職務代理者
閑根 政雄	赤坂西野字荻ノ沢	委員
圓谷 菊重	西山字鬼越	委員
中井 公子	赤坂東野字広畑	委員
青戸 カツ子	富田字前沼	委員
津田 彰夫	渡瀬字木之根	委員
森田 重男	渡瀬字青生野	委員

合は、児童手当等が支給されない場合があります。(請求の手続きが必要な保護者の方については、住民福祉課福祉係より通知しますが、通知が届かない場合はご連絡ください。公務員の方は勤務先にお問い合わせください。)

■問い合わせ 村住民福祉課福祉係 49-3113

臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸の障害の場合は一級、三級(二級なし)。免疫の障害の場合は、午前八時三十分から午後八時までの間、役場で投票できます。時間は午前八時三十分から午後八時までです。この際、入場券を忘れずにお持ちください。

②戦傷病者手帳の交付を受け、両下肢・体幹の障害の場合は「特別項症」から「第二項症」まで。

③要介護者で介護保険被保険者証の要介護状態区分が要介護五級な人。

④①②に該当するか判断がつかない場合は、県知事が書面により証明した人。

交付申請先 村選挙管理委員会

申請に必要なもの 身体障害者手帳または戦傷病者手帳、もしくは介護保険被保険者証

から「第三項症」までの項症が記載されている人。

③要介護者で介護保険被保険者証の要介護状態区分が要介護五級な人。

④①②に該当するか判断がつかない場合は、県知事が書面により証明した人。







## ●お誕生 6月届け出分・敬称略



藤田 大翔・男  
平16.5.31生  
住所…渡瀬字上  
保護者…仲司・早苗



湯塙 美紅・女  
平16.6.10生  
住所…酒垂  
保護者…義喜・千春



平久江龍治・男  
平16.6.16生  
住所…青生野  
保護者…三治・風美枝



溝井 凜・女  
平16.6.22生  
住所…新宿  
保護者…賢一・真澄



坂本 智哉・男  
平16.6.23生  
住所…茅  
保護者…直喜・ひとみ

## ●おくやみ 6月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大 塩	岡部チヨノ	6.12	80歳
余所内	関根キミエ	6.13	89歳
馬 場	鈴木 重愛	6.23	84歳
西野沢	芳賀 忠雄	6.25	65歳

## ●人の動き 7/1現在・( )は前月比

人口	4,611人(+5)
男	2,295人(+4)
女	2,316人(+1)
世帯	1,117戸(+2)

## ●寄附・寄贈 6月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために(金員)…岡部武夫(大塩) 関根正二(余所内) 鈴木ミチ子(馬場)	
■役場に(ひまわり・写真)…圓井実(鬼越)	

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●訂正とおわび  
本誌7月号14ページ、生活情報カレンダーの日付の記載に一部誤りがありました。ここに訂正しおわび申し上げます。

## ●編/集/後/記

■毎日暑い日が続いています。今年は、去年とはうってかわっての夏らしい年になりました。しかし、一方で全国各地では、集中豪雨などによる被害も出た地域もあります。いつ起るかわからない自然災害。『備えあれば憂いなし』です。来月号では夏休み企画として、子どもたちが広報さめがわの一面を作ります。どうぞ期待ください。(緑川)

8

生/活/情/報/カ/レ/ン/ダ/ー/  
月1日～9月11日

日	月
8/1	2 ●図書館休館日 ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●固定資産税 第2期 国民健康保険税 第2期 介護保険料 第2期 納期限
8	9 ●和田医院(棚倉町) 33-2012 中島医院(境町) 43-0003 中島病院(石川町) 26-3415
15	16 ●図書館休館日
22	23 ●図書館休館日 ●保健センター開放日(らっこくらぶ) ●親育て子育てサポート事業…9:30～[公] ●社会学級…10:00～東石区集落センター
29	30 ●図書館休館日 ●保健センター開放日(らっこくらぶ) ●第15回村民ゴルフ大会…棚倉ステーキスカントリークラブ
5	6 ●図書館休館日 ●住民健診…7:30～

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

## Book

## 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介  
鮫川村図書館☎29-1150



かくれんぼ ももんちゃん(とよたかずひこ作・童心社)…ももんちゃんが、かくれんぼをしています。  
もーいいかい。もーいよ。とっこ、とつとこ、みつけにいくと…。



13歳のハローワーク (村上龍著、幻冬舎)…できるだけ多くの子どもたちに自分に向いた仕事、ぴったりの仕事を探してほしいとできた本です。数百の仕事から好奇心の対象を探してみてください。広い世界への「入口」になるはずです。

火	水	木	金	土
3 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●子ども記者クラブ13:30～15:00[公]	4 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●おはなしの森…10:30～11:00[図] ●手作り絵本教室…14:00～16:30[図]	5 ●保育所開放日(鮫川・渡瀬) ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●おはなしの森…10:30～11:00[図] ●学習クラブ…10:00～15:00[公]	6 ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●社会学級…10:00～渡瀬区集落センター	7 ●おはなしの森…10:30～11:00[図]
10 ●4か月児健診…13:30～境厚生病院 ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●図書館休館日	11 ●リハビリ教室…9:30～15:00[保] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●社会学級…10:00～赤坂西野区民センター、中野区集落センター ●おはなしの森…10:30～11:00[図] ●夏の夜のコンサート18:00～[公]	12 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●学習クラブ…10:00～15:00[公] ●天体観望会…19:30～鹿角平天文台	13 ●天体観望会…19:30～鹿角平天文台	14
17 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	18 ●子宫がん検診・骨粗しょう症検診…8:30～、13:30～[保] ●おはなしの森…10:30～11:00[図]	19 ●10か月児健診…10:00～[保] ●1歳6か月児健診…13:15～[保] ●3歳児健診…13:30～[保] ●社会学級…10:00～西山区集落センター	20 ●さくらんぼ教室…9:30～11:30[保] ●農業委員会総会 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公]	21 ●おはなしの森…10:30～11:00[図]
24 ●ツベルクリン反応検査…13:30～[保] ●IT講習会(エクセル)…18:00～21:00[公]	25 ●ツベルクリン反応検査・BCG接種…13:30～[保] ●各小中学校、幼稚園第2学期始業式 ●IT講習会(エクセル)…18:00～21:00[公] ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●社会学級…10:00～青生野集落センター	26 ●ツベルクリン反応検査…13:30～[保] ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●IT講習会(エクセル)…18:00～21:00[公]	27 ●IT講習会(エクセル)…18:00～21:00[公]	28
31 ●住民健診…7:30～青生野集落センター ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●村県民税 第2期 国民健康保険税 第3期 介護保険料 第3期 納期限	9/1 ●住民健診…7:30～渡瀬区集落センター ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	2 ●住民健診…7:30～西山区集落センター ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保]	3 ●住民健診…7:30～[保]	4
7 ●住民健診…7:30～[保]	8 ●住民健診…7:30～[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	9 ●住民健診…7:30～赤坂西野区民センター ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●保育所開放日(鮫川・渡瀬)	10 ●家庭劇場…14:00～[トレセン]	11 ●家庭劇場…14:00～[トレセン]

[○]=休日当番医 [公]=公民館 [保]=保健センター [図]=図書館 [トレセン]=農業者トレーニングセンター [ほ]=ほっとはうす・さめがわ



遠藤 幹雄さん[75歳]・セツさん[70歳] 渡瀬字木之根在住・昭和29年12月結婚

孫たちの成長が楽しみ。  
体が動くうちはずっと農業を  
続けていきたいね。

私たち、昭和二十九年十一月に知り合って、十二月に結婚したんだよ。だから結婚前には二・三回しか会わなかつたね。結婚してからは、養蚕や炭焼き、こんにゃく、牛、冬期間の出稼ぎなどいろいろなことをやつたよ。昔は今と違つて、機械もなく重労働だったから苦労したね。苦労した甲斐あつて、凶作の年でも米は買つたことがないのが自慢だね。

現在は、かわいい孫たちの成長が楽しみで、寂しい思いをさせないように家を守つているよ。お湯入りも楽しみの一つだね。今は稻やインゲンを作つていて、けど、体の動くからは、農業を続けていきたいね。

〔談〕

金婚夫婦に50年を振り返っていただくコーナーです。



昭和29年12月結婚当時の遠藤さんご夫妻

## 広報さめがわ

No.604 [平成16年8月1日発行]

発行／福島県鮫川村 編集／総務課

〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

TEL 0247-49-3111 FAX 0247-49-2651

ホームページ <http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

Eメール [soumu@vill.samegawa.fukushima.jp](mailto:soumu@vill.samegawa.fukushima.jp)